

令和4年度 自己評価報告書

評価対象期間

自：令和4年4月1日

至：令和5年3月31日

学校法人明進学園

目次

- ・本年度の教育重点項目
- ・項目別評価
 - 基準1 教育理念・目的・人材育成像
 - 基準2 学校運営
 - 基準3 教育活動
 - 基準4 学修成果
 - 基準5 学生支援
 - 基準6 教育環境
 - 基準7 学生の募集と受入れ
 - 基準8 財務
 - 基準9 法令等の遵守
 - 基準10 社会貢献・地域貢献

【評価】 適切・・・4 おおむね適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

本年度の教育重点項目

【基本方針】

語学力と国際教養、商業実務能力の習得を目指す学校教育を行い、文化多様性への理解を深める教育を通して、グローバルな環境で活躍できる人材を育成する。

【今年度の教育重点目標】

- ・ 英語ビジネス専攻のカリキュラムの定着化と学生数の確保。
- ・ 座学より実践。知識の伝授より学習マネジメントに重点を置き、学生を孤立させない
- ・ 国内・海外の学生募集方法の確立。
- ・ 留学生、日本人学生が交流できる環境づくり

項目別評価

1. 教育理念・目的・人材育成像

評価項目	自己評価	
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④・3・2・1	定められている。
育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	④・3・2・1	適合している。
理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	④・3・2・1	留学生と日本人学生が交流できる学びの環境を提供している。
社会のニーズ等に踏まえた将来構想を抱いているか	④・3・2・1	特に人材不足の企業を支援するための取り組み、地域社会に貢献できる人材育成を目指している。

1) 現状の取り組み

理念、目的、人材育成像に沿って運営をしており、年度ごとに到達目標を学生に提示している。日本人学生と留学生、学生と地域の方々の交流を通して、お互いに成長、発見ができる場を提供し、グローバル社会において活躍する人材の育成を目指している。

2) 課題と今後の改善策

--

2. 学校運営

評価項目	自己評価	
理念等に沿った運営方針を定めているか	④・3・2・1	理念に沿った運営方針を定めており、教職員への周知も行っている。
理念等を達成するための事業計画を定めているか	④・3・2・1	定められている。
設置法人の組織運営を適切に行っているか	④・3・2・1	適切に行っている。
学校運営のための組織を整備しているか	4・③・2・1	大まかな組織は整備されているが、細かい役割は構築段階である。
人事・給与に関する制度を整備しているか	④・3・2・1	ステージ制を導入し、人事・給与に関する制度を整備している。
意思決定システムを整備しているか	4・③・2・1	専門学校としては、まだ若いため学生数も少なく、意思決定は概ねスムーズに行われている。今後は学生数の増加に伴い、各部署の業務も増えるため、新しい意思決定システムの構築が必要。
情報システムに取り組み、業務の効率化を図っているか	4・3・②・1	業務運営に情報システムを効率よく取り組めていない。

1) 現状の取り組み

運営方針は、経営ビジョン発表会で教職員へ周知を図っている。専攻ごとの教育、進路指導といった年間の事業計画と中期計画を策定している。

2) 課題と今後の改善策

学生数の増加に伴い、改めて学校運営体制の見直しが必要になってくる。来年度、徐々に整備していく。

3. 教育活動

評価項目	自己評価	
理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	④・3・2・1	グローバル社会での即戦力を育成し、仕事に必要な資格も取得すべく、教育課程、実施方針を定めている。
学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4・③・2・1	教育到達レベルを明確にし、資格・能力・社会人としての考え方を養っている。
教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	④・3・2・1	英語ビジネス専攻、社会福祉コミュニケーション専攻共に目標を定め、教育課程を編成している。
教育課程について、外部の意見を反映しているか	4・3・2・①	反映できていない。
キャリア教育を実施しているか	4・③・2・1	就職先と連携を取り、必要な能力やマナーを集約。それを基に必要な教育を実施している。
授業評価を実施しているか	④・3・2・1	全教員対象に年に1回実施している。
成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④・3・2・1	学則に基づき明確化し運用している。
作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4・3・2・①	発表する場を設けていない。
目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4・③・2・1	社会福祉コミュニケーション専攻は、明確に位置づけられている。英語ビジネス専攻は、学生により進路が異なるので、統一された資格は明確になっていない。
資格・免許取得の指導體制はあるか	④・3・2・1	留学生には、日本語の資格が取れるように指導體制を設けている。英語はTOEICのスコアアップを目標に、その指導體制ができている。

資格・要件を備えた教員を確保しているか	④・3・2・1	確保できている。
教員の資質向上への取組を行っているか	④・3・2・1	長期休みに教員を対象とした研修会等を行っている。 今年度は、社会で活躍する学生を育てるための意見交換会を行った。
教員の組織体制を整備しているか	4・③・2・1	教員の組織体制は、概ね整備されている。

1) 現状の取り組み

社会福祉コミュニケーション専攻は、資格取得に向けてのカリキュラムができており、就職先、アルバイト先との連携し必要なキャリア教育を実施。到達目標もはっきりと定められており、学生も教職員も目標を共有している。

2) 課題と今後の改善策

英語ビジネス専攻は、昨年同様、学生数が少ないため、学生の進路や希望に合わせてサポートを行っている。目標や資格取得を目指せるレベルにも個人差がある。今後、就職に必要な英語やビジネスの資格は共通して目指せるようにしていきたい。

4. 学修成果

評価項目	自己評価	
就職率の向上が図られているか	④・3・2・1	就職担当・担任で面談を実施し、学生のニーズに応じた対応をしている。 講義内容も就職を意識した内容としている。
資格・免許取得率の向上が図られているか	4・③・2・1	カリキュラムのフィードバック、学生との面談などを通し資格取得の向上が図られている。
卒業生の社会的評価を把握しているか	④・3・2・1	卒業生が就職した先を訪問し、把握に努めている。

1) 現状の取り組み

授業だけでなく卒業生、アルバイト先との連携により学生の課題を見つけ、評価ができる体制ができている。

2) 課題と今後の改善策

より一層の社会人教育の充実、コミュニケーション能力を重視した授業内容を教員同士でブラッシュアップしていきたい。

5. 学生支援

評価項目	自己評価	
就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4・③・2・1	書類作成・面接指導の実施をしている。 また明晴グループ内にある人材紹介会社を通じ就労支援を行っている。
退学率の低減が図られているか	4・③・2・1	未然に防ぐべく相談体制を設けている。
学生相談に関する体制を整備しているか	4・③・2・1	教職員間での連携を取りながら、相談窓口の整備や個別面談を実施している。
留学生に対する相談体制を整備しているか	4・③・2・1	同上
学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4・③・2・1	学費の支払いについては個別対応を実施している。留学生にはアルバイト先の紹介も行っている。
学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4・③・2・1	教職員間での連携を取りながら、相談窓口の整備や個別面談を実施している。

学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	④・3・2・1	通学が容易な距離に寮を整備している。
課外活動に対する支援体制を整備しているか	4・③・2・1	学生一人の予算を設け、課外活動を支援している。
保護者との連携体制を構築しているか	4・③・2・1	必要に応じ、電話・メール・対面での連携を取っている。
卒業生への支援体制を整備しているか	4・③・2・1	外国人留学生在が就職した先については、定期的に訪問や面談を実施し、支援をしている。
産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	4・③・2・1	就労後支援として留學生に対する日本語能力向上のための講義を行っている。
社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	4・3・②・1	日本人に関しては、現状、社会人に対する教育は行っていない。

1) 現状の取り組み

母国語が話せるスタッフがいるため、留學生のトラブル、保護者などの対応ができています。教師との面談も細かく設定されているため、学生自身に起きている問題も把握しやすい。卒業した留學生の職場での様子を聞いたり、日本語のサポートができる体制もある。

2) 課題と今後の改善策

学生の心理的なサポート体制については、教員の面談では対処できない部分もあるため、引き続き課題である。

6. 教育環境

評価項目	自己評価	
教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	④・3・2・1	校舎は比較的新しく、整備されており、基準を満たしている。

学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4・③・2・1	インターンシップを行っている。
防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4・③・2・1	防災委員会を設置し、全校で防災訓練を年1回実施している。
学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	4・③・2・1	AED研修、防災訓練等は実施されているが、安全管理の体制は整備する必要がある。

1) 現状の取り組み

学生を対象に校内の避難訓練、立川防災館へ行き、様々な体験をさせた。職員を対象にAED研修等を実施。商工会議所や地域の消防団と連携し、日本人と外国人による防災イベントにも参加した。

2) 課題と今後の改善策

安全体制は、今後整備し充実させていく必要がある。

7. 学生の募集と受入れ

評価項目	自己評価	
高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4・③・2・1	資料送付や高等学校に訪問して説明を実施している。
学生募集活動を適切、かつ、効果的にしているか	4・③・2・1	日本だけでなく、海外から直接専門学校に入学する留学生を受け入れている。
入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	④・3・2・1	合格基準点を設け運用している。

入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	④・3・2・1	留学生については入試で日本語能力を図る筆記試験や面接試験を実施し、個別の成績や所見をもとに学生のレベルに応じた授業内容にしている。
経費内容に対応し、学納金を算定しているか	④・3・2・1	算定している。
入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか	④・3・2・1	年度末の3月31日までの入学辞退であれば、学費を返金することになっている。

1) 現状の取り組み

入学選考は適切に行っており、入学する学生に応じて授業のやり方も工夫されている。学費に関しては、経費内容に対応し算定している。また奨学金制度、留学生学費減免制度を設けている。入学辞退者に対する授業料の返金については、ルールを設け、募集要項で周知している。

2) 課題と今後の改善策

学生募集に関する情報提供は、十分にされていない。定期的な学校訪問、オープンキャンパスも十分にはできていないので、学生募集に関する年間スケジュールの確立と人員の動員が必要。また、海外からも留学生を受け入れるため、海外用の募集要項、選考の日程等、現地と連携を強化し、充実させる必要がある。

8. 財務

評価項目	自己評価	
学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4・③・2・1	概ね問題ないが、資金繰りは引き続き課題。
学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	④・3・2・1	概ね問題ない。
教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	④・3・2・1	予算案、収支計画を策定している。

予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	④・3・2・1	概ね問題ない。
私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか	④・3・2・1	適切に実施されている。
私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	4・③・2・1	公開が義務付けられている書類の作成はできているが、積極的には公開していない。

1) 現状の取り組み

予算案、収支計画を作成し、収支のバランスはとれて利益の見込みも立っている。監査報告書の作成、及び監査での指摘事項についての対応は行われている。

2) 課題と今後の改善策

資金繰りについては、引き続き課題である。

9. 法令等の遵守

評価項目	自己評価	
法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	④・3・2・1	適正な学校運営を行っている
学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4・③・2・1	概ね問題ない。今年度は、学籍管理に新しいソフトを導入。
自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	④・3・2・1	小規模ではあるが、評価を行っている。
自己評価結果を公表しているか	④・3・2・1	ホームページで結果を公表している。
学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4・3・2・①	学校関係者の評価体制は整備されていない。

学校関係者評価結果を公表しているか	4・3・2・①	公表していない
教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4・③・2・1	社会福祉コミュニケーション学科では、教育情報を看護・介護部会やセミナー等で公開している。

1) 現状の取り組み

自己点検自己評価については、適切に行いホームページで結果を公表している。

2) 課題と今後の改善策

学校関係者、第三者評価については引き続き課題。

10. 社会貢献・地域貢献

評価項目	自己評価	
学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④・3・2・1	地域清掃委員会で、毎週学校周辺の清掃を実施。教職員のほかにも学生たちも行っている。町内会主催の公園の植栽にも参加している。
国際交流に取り組んでいるか	④・3・2・1	留学生と地域日本人との交流に力を入れている。
学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	④・3・2・1	課外活動委員会で地域でのイベント参加を募集し、活動を促している。

1) 現状の取り組み

留学生が在籍しているため、当校の留学生と近隣の高校生、住民の方との交流会を定期的に行っている。また、地域の日本人、外国人との交流を目的に年に1回、多文化共生フェスティバルを企画している。

2) 課題と今後の改善策

年度の後半は、地域との交流、日本人と外国人との交流も増えてきた。多様性、多文化共生、各所との交流は、当校の特色でもあるので、今後、更に充実させていきたい。また、日本人学生に対しても外国人との交流を通し、視野を広げていく活動を充実させていきたい。